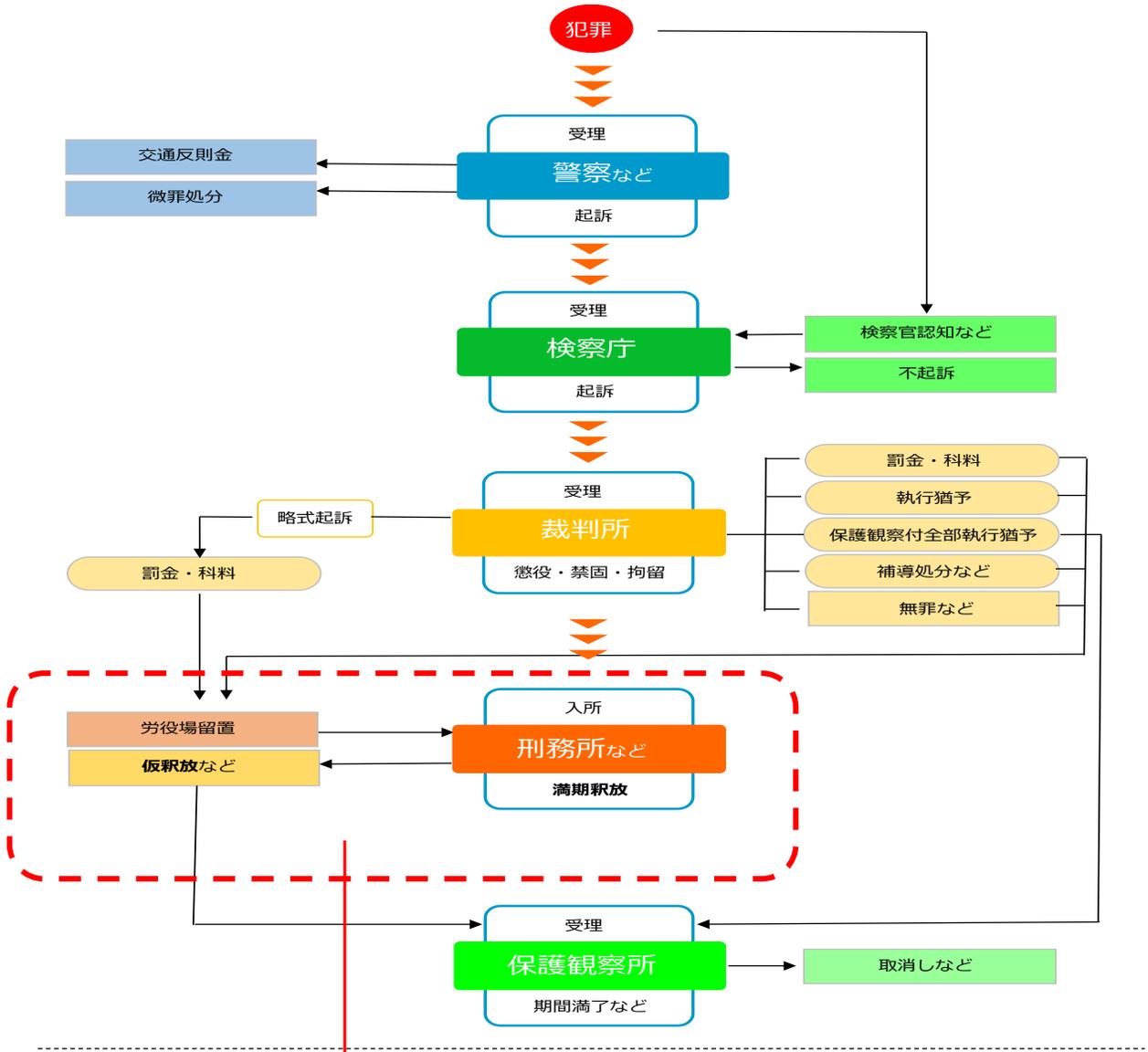


刑事手続の流れから刑事施設における施設内処遇の概要



<施設内処遇>



刑務作業の概要

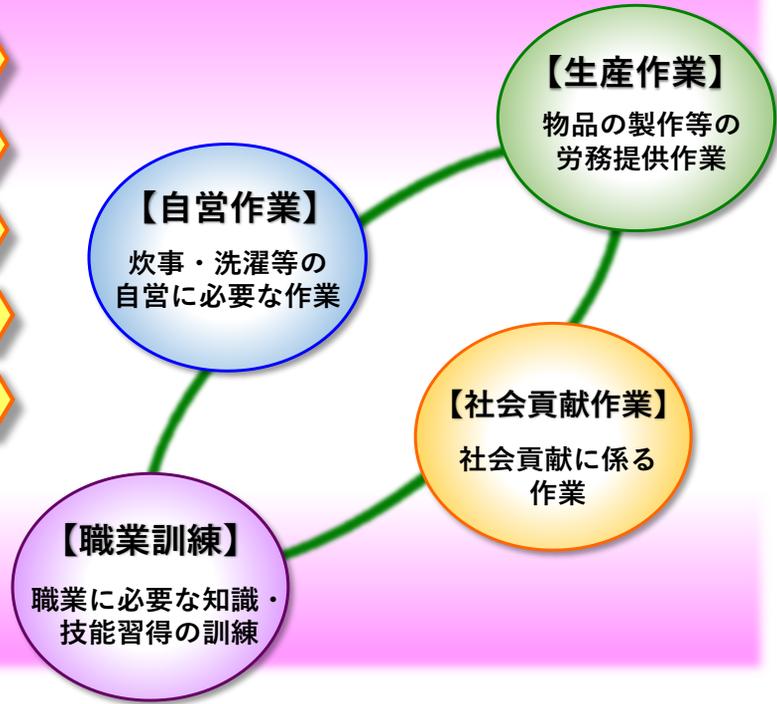
刑務作業の意義

- 自由刑の中心である懲役刑の本質的要素である「所定の作業」を具体化するもの
- 受刑者の改善更生上、重要な機能を有する処遇方策
- 受刑者の処遇の基本

刑務作業の機能

- ▶ 規律ある生活態度の習得
- ▶ 社会共同生活への順応性の涵養
- ▶ 勤労意欲の養成
- ▶ 職業的な技能・知識の付与
- ▶ 目標達成による忍耐・集中力の養成

受刑者の
改善更生を促進



職業訓練の概要と職業訓練の内容

職業訓練の意義

職業知識・技能の習得

計画的・組織的訓練

免許・資格の取得



【主な職業訓練種目】

- ・ 測量科, CAD技術科, 建設く体工事科
- ・ 建築科, 建設機械科
- ・ 介護福祉科, 医療事務科
- ・ ビジネススキル科, 情報処理技術科
- ・ 自動車整備科
- ・ 農業科

など

28種目 (令和3年度)

職業訓練の概要 (職業訓練実施状況の一例)

介護福祉科

- 実施庁 17庁
- 取得資格
介護福祉士実務者研修修了証
- 有効求人倍率：**3.44** (平均1.02)
- 介護関係の職種は、高齢化する日本社会において、将来的にも雇用ニーズが高く、就職に有利な資格である。



CAD技術科 (基礎科・応用科)

- 実施庁 8庁
- 取得資格
CAD利用技術者2級, 建築CAD検定3級,
3次元CAD利用技術者試験1・2級
- 有効求人倍率：**1.74** (平均1.02)
- 近年、洋裁等の生産過程においてもCAD技術が導入され、今後も多くの産業で導入が期待されているなど、有効な資格である。



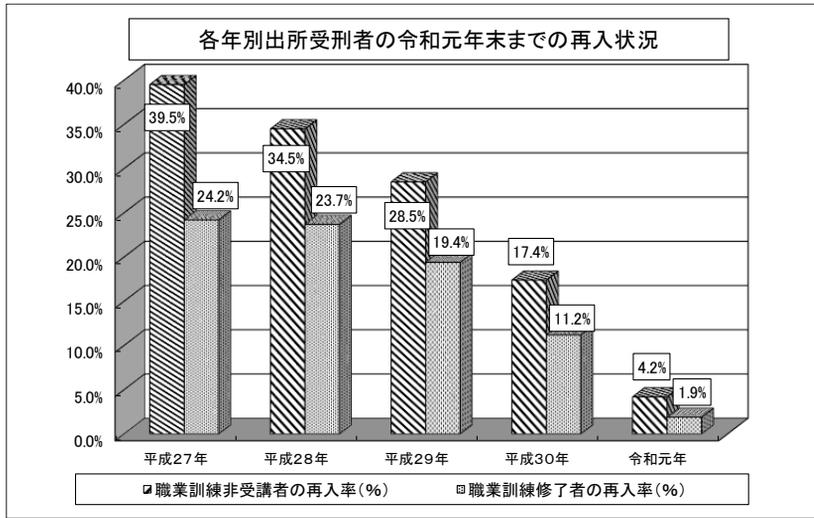
建設・土木コース

- 実施庁 1庁
- 取得資格
フォークリフト運転技能講習修了証
玉掛け技能講習修了証 等
- 有効求人倍率：**4.92** (平均1.02)
- 建設関係の職種については近年他の業種と比較して高い有効求人倍率を示すなど、極めて高い雇用ニーズがあり、出所後の就労に結びつきやすいため有効である。



職業訓練の効果

職業訓練受講者の再犯状況



刑事施設出所者のうち、職業訓練非受講者と受講者の比較検証

- 各年別の出所受刑者が令和元年末までに再入所した割合
- 職業訓練受講者の再入率は、非受講者の約6割



職業訓練受講者は非受講者に比べて再入率が低い

(単位:人)

区分	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
受刑者出所人員	23,566	22,947	22,025	21,060	19,993
職業訓練非受講者	20,348	19,315	18,060	16,822	16,147
職業訓練修了者	3,218	3,632	3,965	4,238	3,846
令和元年末までの再入人員(再入受刑者)	8,812	7,520	5,909	3,396	748
職業訓練非受講者再入人員	8,032	6,659	5,139	2,920	674
再入率 (%)	39.5%	34.5%	28.5%	17.4%	4.2%
職業訓練修了者の再入人員	780	861	770	476	74
再入率 (%)	24.2%	23.7%	19.4%	11.2%	1.9%

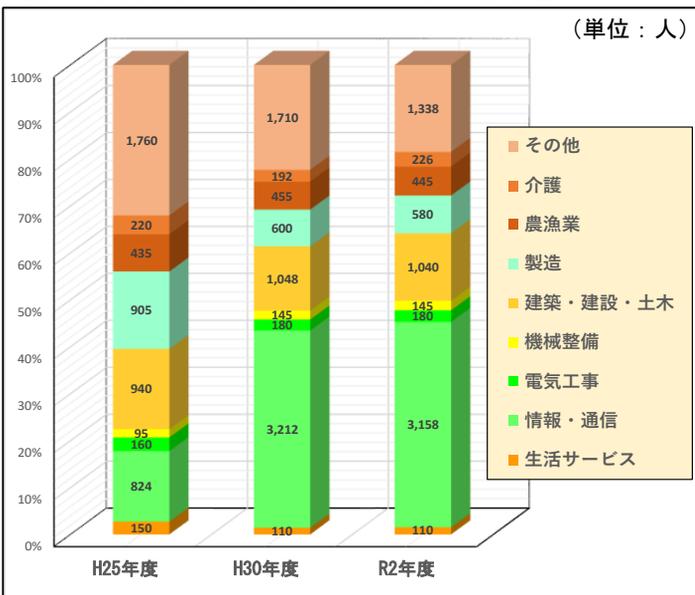
【職業訓練を受講して前年に仮釈放で出所した者のうち、当該年度までに保護観察を満了した者の有職率】

職業訓練受講者の有職率81.5%
未受講者の有職率64.5%

職業訓練の受講が就労に効果

職業訓練実施体制等の推移

【職業訓練種目に係る訓練計画人員の推移】



【令和2年度】

- 建設・土木コースの新設 (訓練人員20名増)
- 農業コースの新設 (訓練人員20名増)
- 介護コースの新設 (訓練人員12名増)

協力雇用主等へのアンケート等
コレワークからの事業者側ニーズ

雇用ニーズによる職業訓練体制の充実

刑事施設内における就労支援の状況

就労支援スタッフ等による就労支援

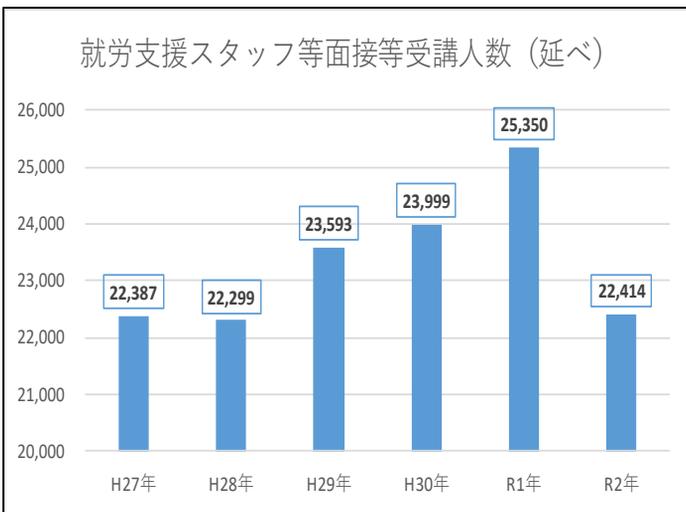
【就労支援スタッフ】

- ・平成18年度から設置して順次、配置庁を拡大
- ・令和2年度は76庁に配置

【就労支援専門官】

- ・令和元年度から刑事施設に設置
- ・令和2年度は刑事施設13庁に配置

(単位：人)



- 平成27年度からは就労支援の充実のため、ハローワーク職員が常駐 (令和2年度35庁)
- 就労支援スタッフ等による面接回数は増加

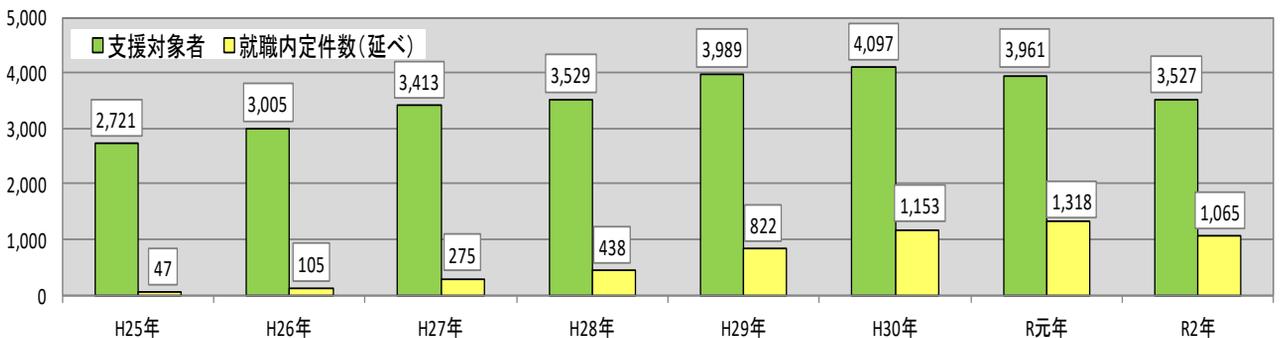


受刑者等への就労支援機会の増加

専門性の高い職員によるキャリア
カウンセリング等の働き掛け

在所中内定者数等の推移

刑事施設における就労支援実施状況の推移(平成25年~令和2年)



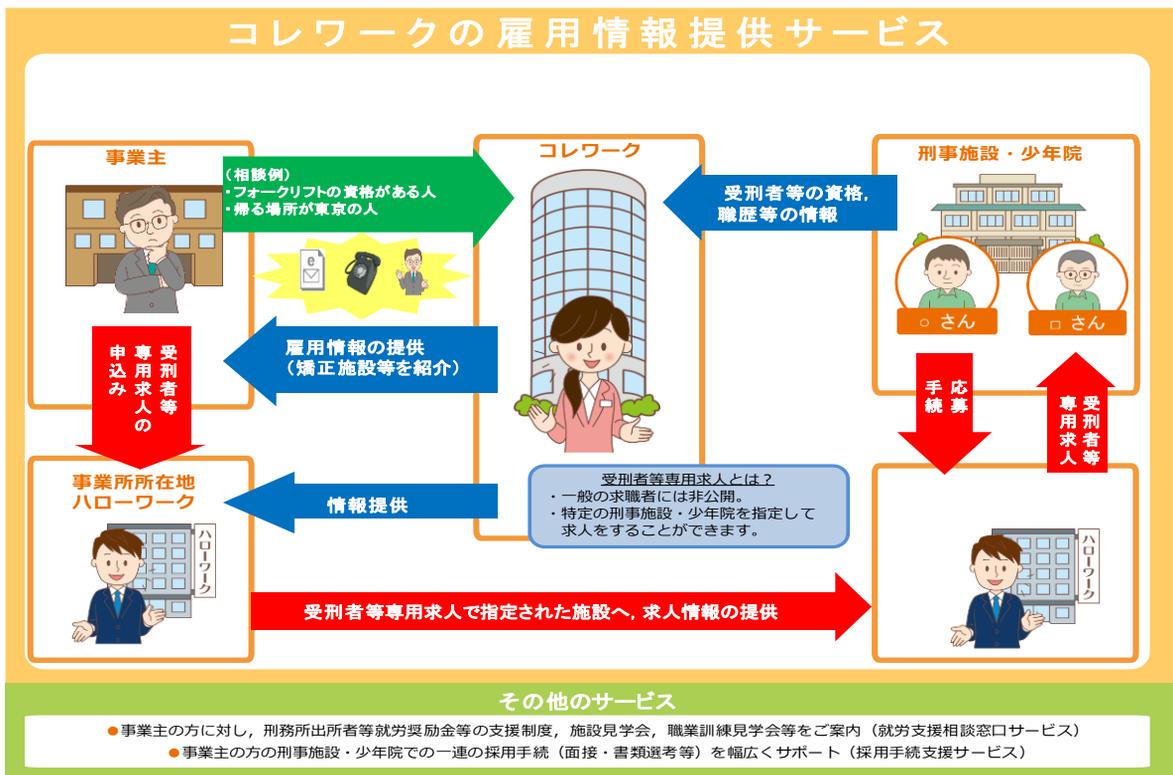
- 受刑者等への就労支援機会の充実により、就労支援実施者と就職内定者が着実に増加

矯正就労支援情報センター（通称「コレワーク」）の設置

コレワークによる雇用情報提供サービス

- 全国の受刑者・少年院在院者の資格、職歴、出所・出院後に帰る場所等の情報を一括管理
- 事業主等へ雇用ニーズにマッチする者を收容する刑事施設・少年院を紹介
- 地域の雇用情勢に応じた、よりきめ細やかな就労に向けた支援

<矯正就労支援情報センターの概要>



コレワーク設置について

就労支援体制の更なる充実

- ・ 受刑者等の居住地や取得資格などの情報を一括管理し、事業主のニーズとのマッチングを図る
- ・ 出所者等の雇用を希望する事業主の相談に応じるなどの支援の実施

▶ 平成28年11月から東京及び大阪の2か所にコレワークを設置

↓ 地域の情勢等に応じた、広域的かつ細やかなサポート体制確立の必要性

▶ 令和2年度からは、札幌・仙台・名古屋・広島・高松・福岡の6か所に設置を拡大

コレワークによる相談事業主等の確保

コレワークによる雇用ニーズの掘り起こし



【刑務所出所者等雇用支援セミナーの開催】

・事業主等に対して各地域の様々な就労支援に係る取組を紹介するセミナーを保護観察所、地方公共団体及び労働局等と共同開催



【相談事業主等との個別相談会】

・刑務所出所者等雇用支援アドバイザーを交えるなどして、刑務所出所者等の雇用に係る個別的な相談を行い、雇用に対する不安を解消

コレワークを利用した内定例

【遠方の帰住先での求人】

刑事施設在所中に職業訓練（建設機械科）を受講した経験がある在所者について、帰住先が在所施設から遠方の他県であったところ、コレワークを介した求人を紹介したことで、帰住先で土木関係の事業者へ採用が得られた。

【職歴や経験による求人】

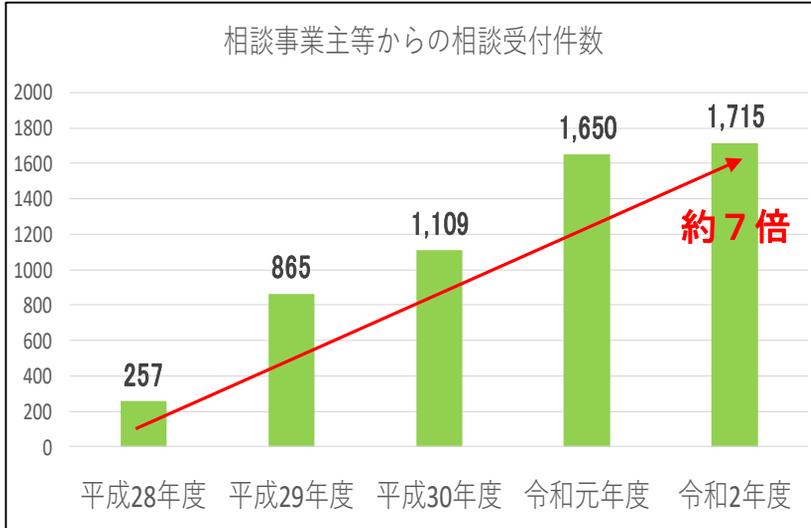
電気工事経験のある者の雇い入れを希望して相談があった事業主に対して、コレワークを利用して職歴や所持資格で検索してマッチング。対象者は既に更生保護施設へ帰住が決まっていたものの、本人の強い希望もあり、本件事業主との内定に至った事例

事業主等との
多様な関わりの機会が増加



コレワークによる就労支援の効果

事業主等からのコレワークへの相談受付件数の推移



○ 事業主等からの相談受付件数は令和2年度で約7倍に増加

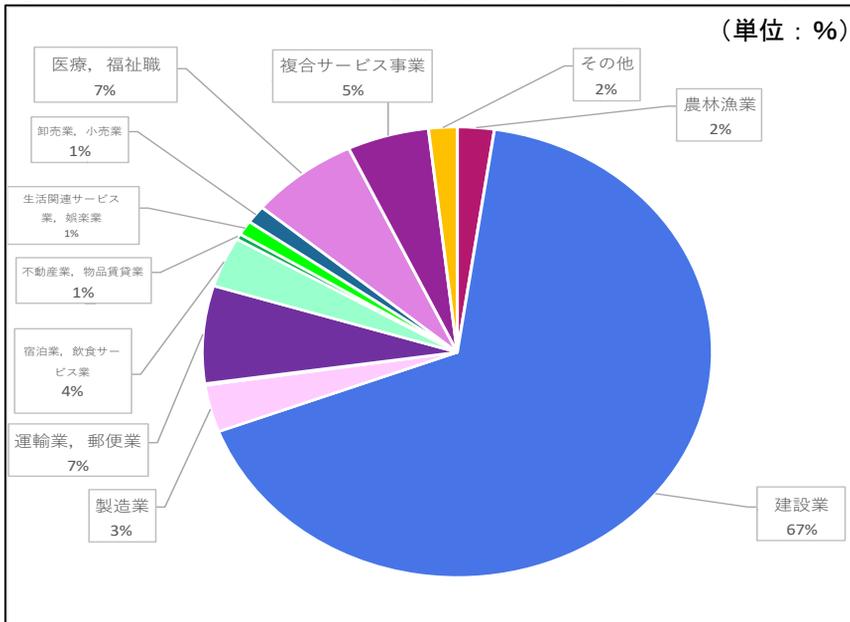
○ コレワークを設置した平成28年度以降、相談受付件数は確実に増加。コレワークによる事業主等への積極的な広報活動が相談件数の増加に結実

○ 相談受付件数の増加により刑務所出所者等の就労先の選択肢が拡大

○ 就労の受け皿となる事業主等の増加によるマッチング機会の拡大

相談事業主等の状況

【コレワーク相談事業主等の業種別相談件数の割合】（令和2年度）



○ 事業主等の業種は建設業が圧倒的多数の状況

事業主等と刑務所等在所者のマッチングには幅広い選択肢があることで就労につながる可能性が高くなる

○ 多数の相談事業主等の確保

○ 幅広い業種の確保

より充実した就労支援

○ 雇用ニーズ等を踏まえ、職業訓練を含めたより効果的な就労支援体制の構築

○ 効果的な広報活動による相談事業主等の更なる確保